

GIGA スクールに向けて（1人1台の環境での学習をすすめるために） 校内LAN・端末整備の補助事業以外に必要なこと

○5か年整備計画・地方交付税等で措置されているので自治体予算での対応が必要です

インターネット接続はストレスなく利用できますか

校内LANが高速になり端末が増えると全体のデータ量が桁違いに増えます。クラウドの利用を前提にGIGAスクール構想は計画されていますので重要な点です。オンラインのコンテンツもますます増えていきます。

既存の無線LANを活用する計画の自治体はGIGAで入る端末が一斉に接続できますか

各教室で40台が一斉に接続しての利用が可能になっていないと、GIGAスクール構想の利用はできません。補助事業で整備した学校についても確認が必要です。

学習用ツールは用意されていますか

活用のビジョンに合わせたソフトウェアや学習コンテンツが必要です。クラウドで利用できるものが多数あります。"コンピュータソフトなければただの箱"にならないように計画しましょう。

予備用タブレットコンピュータは用意されていますか

端末が故障しても、授業は進みます。修理の間に使える端末が必要です。

指導者用コンピュータは十分ありますか

児童生徒への説明、学習の様子把握、課題等の作成に必要です。

大型提示装置は各教室に常設されていますか

一斉指導、協働の場面で全体で見て説明・発表などにかかる時間が短くなります。教室の中で十分に見える大きさが必要です。

実物投影機は各教室に常設されていますか

実物を映してやり方を示したり、手元にある物を大きく見せる事で説明をわかりやすく端的にできます。

人的な支援体制はできていますか

ICT支援員、GIGAスクールサポーターなど、教育委員会や学校の教職員の負担を下げ、よりよい教育活動を進めるためには欠かせません。

子どもたちの学びの環境は安全・安心ですか

最低限のセキュリティ対策ソフトや、リスクの高いサイトから守るコンテンツフィルタリングは欠かせません。

○教育行政の役割として果たしていく必要があります

一人一台のビジョンはできていますか

1人1台の環境で学んで育った子供の姿はどんな姿でしょう。そのためには、今の活用の姿はどんな姿でしょう。それは成長とともにどう変わっていくのでしょうか。

推進体制はできていますか

教育委員会内で一部だけの動きになっていませんか？企画面、指導面、施設面、整備面等の協力体制が必要です。教育委員会だけではなく、首長部局の行政担当や情報政策担当との連携で、クラウド利用の体制をつくらなければなりません。

調達、導入、運用で生じる仕事の見通しはできていますか

ドメインの用意、1人1アカウントの設定、保守、故障時の対応など、誰がやるか、いつやるか、などの見通しをもって進めていく必要があります。

学校や先生のサポート体制は計画されていますか

指導する先生方にとっても常時1人1台の環境は未経験です。どのような授業をすればいいのか？どんな注意が必要か？研修が必要です。また、困った時に相談できるヘルプデスクがあると安心できます。授業時間だけではなく、授業の準備をする放課後等の相談が多くなりますので、相談しやすいヘルプデスクにしましょう。

家庭での学びが可能ですか

学びを止めないために、学校だけに限らずに学べる環境にしていく必要があります。学び方を学び主体的に学ぶためには学校外でも学ぶことができるようにしておきましょう。